



2014年10月17日 第816号



発行 関西学院大学新聞 編集部
〒662-0891 西宮市上ヶ原1番町1-155
関西学院大学新学生会館3F
電話：(0798) 51-1181
E-mail: kgpress2009@yahoo.co.jp

「誇り」を胸に

新月祭2014開催

いよいよ新月祭2014が開催される。神戸三田キャンパスでは10月25、26日に、西宮上ヶ原キャンパスでは10月31日、11月1、2、3日に、そして西宮聖和キャンパスでは11月22、23日に行われる。

本学大学祭実行委員会は本年度も新月祭を開催することを決定した。今回のスローガンは「誇り」である。これに



後夜祭ライブを盛り上げる家入レオさん

今年には西宮上ヶ原キャンパスでは日号館が完成して出店出来るスペースが増えたことから模擬店の数が昨年の85団体から90団体に増加する。また、神戸三田キャンパスでは昨年までのお笑いライブに代わって全員がより一体となって楽しむことが出来る音楽ライブが行われる。小室さんは「昨年よりも内容がパワーアップしているため、皆さんをより笑顔にできる新月祭になる。多くの方に来てほしい」

は全関学生が本学に感謝をし、関学の良さを再認識してより誇りに思っているという意図が込められている。新月祭にしたい」と意気込みを語った。

期間中には大学祭実行委員会が企画した様々なイベントが行われる。その中でも一番の目玉は西宮上ヶ原キャンパスで行われる後夜祭ライブだ。今年は嘘偽りのない歌詞強い意志溢れるソングライティングが魅力の家入レオさんが招かれる。今まさに人気を博しているアーティストであるため、どのようなライブになるのか注目である。新月祭2014大学祭実行委員会委員長を務めている小室泰生さん(社・3)は新月祭について、「みんなを笑顔に出来るような、そして全ての来場者が関学に遊びに来てよかったと思えるような新月祭にしたい」と意気込みを語った。

本学における大学祭は、大学祭の提起に始まり、企画模擬店を通じた参加、清掃等の管理や運営、学内外との交渉、総括に至るまで、大学祭に関する全てのことを関学生が自らの意思・責任の下で行なう自治学祭である。現在、本学において完全な形で学生自治を行うことが出来るのはこの新月祭のみだ。従って新月祭は、より多くの関学生が来場者を楽しませ、また自らも大

扉の一言

敵と戦う時間は短い。

自分と戦う時間こそが

勝負の明暗を分ける。

王 貞治



実行委員長の小室さん

Table with 4 columns: Date, Event, Time, Location. It lists various events across three campuses: 神戸三田キャンパス, 西宮上ヶ原キャンパス, and 西宮聖和キャンパス.

博物館始動 125周年事業
本学の創立記念日である9月28日、時計台が創立125周年記念事業の一環で関西学院大学博物館として開館した。開館当日には多くの来場者が訪れ、オープニングセレモニーとしてテープカットなどが行われた。博物館では、本学の歴史を

踏まえた展示や、年2回の企画展を通して、本学の研究や教育の成果などをさまざまな情報を発信していく予定だ。博物館では「未来への125年—関西学院のあゆみ—(2014.9.28~2014.11.22)」と題する展示を行い、本学が所蔵する写真や資料によってその歴史を紹介する。また、第1回企画展では、「聖なる光に照らされて—聖書から生まれた美—(2014.12.1~2015.2.14)」では貴重なグーテンベルクの聖書や死海写本をはじめ、クリスマスをテーマにした絵画や切手を展示する。本学の学生にも有意義な展示なので、ぜひ一度訪れて、本学の歴史に触れてみてはいかがだろうか。



オープニングセレモニーの様子

- 2,3面 KGニュース 125周年記念コンサート
4,5面 ヴォーリス建築特集
6面 連載記事
7面 K.G. studio
8面 キャンパスウェディング特集

日本語が独特な言語であることを再認識したきっかけは今年日本で大ヒットしたデイズニー映画「アナと雪の女王」である。この映画の見どころの一つは主題歌にもなっている「ありのまま」(原題: Let it go)である。世界25か国語に訳され、中でも日本語版は世界からの評価も高い。この曲の音楽性に魅せられ、各国の「ありのまま」を聴きたいと思い、各国版のCDのタイトル一覧を見ると、どの国か識別しづらい事が多い。例えば「Zaidnou」と「Adrima」は何語かすぐ分かるだろうか。答えはチェコ語とトルコ語である。このように多くの国のタイトルがアルファベットであるため、見分けるのが困難だ。一方、日本語版は漢字も使用しない「ありのまま」の6文字で日本語の個性を十分に表しているのである。また音に注目すると、サビの部分の「Let it go」にあたる部分はメロディーに合わせると6音しか入ることができないが、日本語は音を複数組み合わせることで単語が成立するため、繰り返しのフレーズがない。このように原曲を忠実に翻訳することは出来ないが、日本語版は限られた音の中で曲の世界観を十分表現し、高い称賛を得た。この曲を聴けば日本語の持つ素晴らしさに改めて気づくことができる。





# 鳴り響く第9

## 関西学院創立125周年記念音楽祭

8月23日に大阪市のフェスティバルホールにて、関西学院グリークラブと関西学院交響楽団による「関西学院創立125周年記念音楽祭」が開催された。今回は日本レマ協会の協賛で、関西学院交響楽団から延原武春氏が客演指揮として迎えられた。

当日は、広いホールが満席になるほど多数の観客が詰めかけた。音楽祭は関西学院初等部による合唱から始まり、グリークラブ、関西学院交響楽団の演奏と続く。その後、延原氏の指揮のもと、グリークラブと関西学院交響楽団、ソリストの大岡美佐氏、廣澤敦子氏、清水徹太郎氏、藤村匡人氏とともに、ベートーヴェン作曲の交響曲第9番「二短調・作品125・合唱付き・第四楽章」の男声合唱版が演奏された。称賛の拍手が鳴りやまぬ中、音楽祭の最後には、学院創立125周年記念にオーケストラレシーションされた本校校歌、「空の翼」が演奏された。司会者の合図で、観客が一斉に立ち上がり、「空の翼」の大合唱が始まった。演奏が終了する頃には、ホールはただならぬ一体感に包まれていた。

今回の音楽祭について、グリークラブ第115代部長の櫻井晃さん(商・4)は、「フェスティバルホールという大きな舞台で演奏できたことは、一演奏者として素晴らしい経験になった」と振り返った。

また、「今回は1回目の成長を実感した舞台だった。校歌や愛唱歌を歌う彼らの声は、見違えるように力強くなっていたと語った。

曲目の中には英語で歌うものもあり、櫻井さんは「英語の曲は発音が難しかった」と苦労を語った。しかし、当日の指揮を務めたグリークラブ第115代指揮者の木本貴士さん(言コミ・M1)の指導により、発音を含めた歌唱技術の向上を実現したと語った。

櫻井さんに演奏した曲の中で思い入れのある曲を尋ねると、「本当は全てそうなのだが、あえて一つ挙げるならば、『緑濃き甲山』だ」と答えた。グリークラブでは夏合宿の最後に各回生のみで歌う歌を各代で相談して決める習慣があり、これを学年歌と呼ぶのだが、「緑濃き甲山」は一回生の合宿の時に歌った学年歌

りも遥かに多くのお客様にご来場していただけた為に、用意していたパンフレットが足りなくなったことが大変印象に残っています。また、演奏会終了後に他大学の方たちと行った打ち上げでは、皆が和気藹々とした雰囲気の中で語り合えることが出来たので、東西の学生マンドリンクラブ同士の交流という目的も果たすことが出来たと思います」と振り返った。



グリークラブ第115代部長の櫻井 晃さん(商・4)

# 2年に一度の祭典

## 第26回全日本学生マンドリン連盟 合同演奏会

8月15日、大東市総合文化センターサテライトホールで第26回全日本学生マンドリン連盟合同演奏会が開催された。本学からは文化総務部マンドリンクラブの有志4名が参加

し、他大学の学生らとともに素晴らしいマンドリン音楽を奏で、観客を魅了した。この演奏会は2年に一度開催されるもので、場所は関東と関西で交互に行われている。そのため関西では実に4年ぶりの開催となった。今回は、今期全日本学生マンドリン連盟関西ブロック代表を務め、自身もコントラバス奏者として演奏会のステージに立ったマンドリンクラブ部長の山本一馬さん(文・3)にお話を聞いた。

最後に、山本さんは「マンドリンは大学生活の4年間で上達させることの出来るもので、大学で新しいことを



マンドリンクラブ部長の山本一馬さん(文・3)

4年ぶりの関西公演を無事に終え、新たなステージへの一歩を踏み出したマンドリンクラブの今後の活躍から目が離せない。

# 新月祭ブースにも参加

### ~LGBTをもっと身近に~

「当事者も、当事者でない人もみんなが暮らしやすい関学にしたい」。そんな思いを胸に活動する学生の有志団体「KSC×LGBT」がある。KSCは神戸三田キャンパスの略称で、新月祭での活動の

始まりが同キャンパスであったことに由来する。LGBTとはレズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーといった性的マイノリティ(少数派)の総称である。新月祭への参加は今年で三年目となるが、西宮上ヶ原キャンパスでの催しは初となる。ブース(日号館305)では、自分のセクシュアリティをカミングアウトしている有名人の紹介や、「関学では同性でも結婚式ができるらしい」といった、LGBTにまつわる関学の噂を展示する予定だ。さらに、来場者が感想を書き込めるコメントボードも設置する。

代表者である井上さん(人福・2)は、「学生が主体となってやることによって、LGBTをもっと身近に感じてほしい。LGBTは人口の5%を占めており、単純に計算すると関学には1000人を超すLGBTが存在していることになる」と話す。

また、期間中は「みんなでご飯を食べる会」と題した交流会を計画している。来場者とスタッフはもちろん、訪れた人々同士の交流の場となることが期待される。ブースは誰でも気軽にふらっと立ち寄れるようなアットホームな雰囲気仕上げる予定で、井上さんは「LGBTと聞くと、何か自分とは遠い存在だと感じる人が多いと思う。でも、今隣にいる人が当事者かもしれない。当事者もそうでない人も心から楽しんで大学生活を送ってもらいたい。」



昨年度のLGBTブースの様子

# 熱気の渦を生み出す演奏

## 第64回関西吹奏楽コンクール

8月24日に、第64回関西吹奏楽コンクールが滋賀県の守山市民ホールで行われた。本学からも応援団総務部吹奏楽部が県予選を経て、出場した。

当日は大勢の観客で会場が埋め尽くされ、関西大会という大きな舞台にふさわしい熱気と緊張感が溢れていた。

演奏前の心境について部長の松井翠さん(文・4)は、「予選となる県大会では自分たちの思うような演奏ができなかった。その反省を活かして、合宿や練習を重ね、改めて全員が全国大会で金賞を取るという目標に向かって一歩を踏み出したマンドリンクラブの今後の活躍から目が離せない。」

ただだと思った」と話した。本番では課題曲、自由曲共に、身体が勝手に揺れるような軽快なリズムと深みのある低音が響き渡り、演奏後は盛大な拍手が鳴り止まなかった。迫力ある演奏に呼応するように会場の熱気も高まり、一体感が生まれた。

演奏後の心境について松井さんは「涙が止まらなかつた。自分たちの今できる最上の演奏をすることができたと思っただけでよかった。」と振り返った。結果は惜しくも全国大会出場には一歩届かなかったが、金賞を受賞することができた。結果について松井さんは「発表後、しばらくは全国大会に行けるのではという期待が大きかった分、受け入れることができなかった。納得できる良い演奏ができたので、悔しかった」と話した。

昨年の全国大会銀賞という結果を上回ることはできなかったが、松井さんは「演奏中は」とても充実した、楽しい時間を過ごすことができた。一つの目標に向かってみんなで演奏する吹奏楽の素晴らしさを改めて感じた」と笑顔で語った。



応援団総務部吹奏楽部部長の松井 翠さん(文・4)



# 第4回

## シューカツ最前線

### キャリアアセンター直伝 ES作成術

皆さんは長い夏休みをどのように過ごしただろうか。部活に打ち込んだ人、留学した人、アルバイトに勤しんだ人など人によって過ごし方は様々だが、インターンシップ

に参加したという人も多いのではないだろうか。そして、そのインターンシップ応募の際にエントリーシート（以下よりES）を書くのに苦戦し、今後の就職活動に不安を覚え

た人も少なくないのではないだろうか。そんな人のために、第4回シューカツ最前線では一足早く「ESの書き方」について紹介する。

#### ESの書き方って？

まず、ESを作成する前に以下の5点をしっかりと理解しておく必要がある。ESは①書類選考に使われる②自分の分身③短時間で読まれる④読み手は初対面⑤永久保存版であるの5点である。特に、③・④の項目は常に意識しておく必要があるだろう。これ

についてしっかり理解する必要がある。 会見の内容は、2013年度、兵庫県豊岡市と佐用町、東京都、福岡市の4カ所を日帰り計195回訪問したとして、政務活動費から約301万円を支出していた問題についてだ。会見の中で彼は「精力的な議員活動の結果」と支出の正当性を主張した。

までのあなたの生き方や考え方に興味があった初対面の人、限られた時間の中でその文章を読むのである。簡潔かつ具体的に、興味を持ってもらうことができ、その文章からあなた自身をイメージ出来る内容でなければいけない。このことを踏まえた上で、具体的な内容の書き方について触れていきたい。

はじめに、「志望動機」の書き方から見ていきたい。志望動機を書くにあたって、大切なのは自分の特徴や強み、その企業のどの分野でどのように活かしたいのかを書くことである。ここで注意したいのは、その企業が求める人材像に当てはまるように、逆算して書く必要はないということである。自分の特徴や強みをその企業であれば、どのように活かす事ができ、企業にどんな貢献が出来るかが伝えればよいのである。

「はじめに」の書き方だが、この項目を書く際に、「人に自慢できるほど、打ち込んだことがない」と思ってしまう、何を書いたらいいのかわからなくなってしまう人が多いのではないだろうか。しかし、それほど気負う必要はない。誰もが驚くほど凄いや感動を覚えるわけではないのである。大事なことは、その体験を通して自分が何を得たのかを相手にきちんと伝えることである。それが出来るのであれば、ありふれた飲食店のアルバイトの経験や競技成績

を伴わないサークルでの活動を題材に書くことも可能である。例えば、サークルの幹部をしていたのであれば、先輩の繋がりを深めたいと考へ、く工夫した結果、現在はく状況だといった具合である。自分がいかなる目標を定め、どんな工夫をしたこと、どのように変化したのかをなるべく数値などを用いて具体的に表現することが大切である。

最後に、「自己の特徴について」の書き方についてであるが、この項目を書くにあたって、悩むことが多いのが、「学生時代に打ち込んだこと」の内容と差別化が図れないということである。無理に差別化を図る必要はないが、現在自分にとってどのような力が備わっているかについて記すところであり、学生時代に打ち込んだ事以外でも、自分の強みや特徴が表れている場面はあるのではないだろうか。

# 論説 日進月歩 『県議会議員の不正を問う』

2014年の上半期は、記者会見で世間を賑わせた人物が話題となった。ゴーストライター問題で佐村河内守氏は自らの潔白を天地神明に誓った。STAP細胞問題で小保方晴子氏は、「STAP細胞はあります」と断言した。二人に共通していたことは、世間から「疑惑」の目を向けられていたということだった。

上半期が終了し、下半期に入った初日の2014年7月1日、新たに「疑惑」をかけられた人物が現れた。彼もまた記者会見を開き、号泣しながら身の潔白を訴えた。彼の名は野々村竜太郎、当時の兵庫県議会議員である。

野々村氏の記者会見を見た人々は、どのような感想を持ったのだろうか。おおかた「面白い」や「すごい」といった印象を受けたのであろう。こうして彼のキャラクターばかりが注目されていくのは致し方ないことだが、やはり我々は何が問題だったのかに

ついてしっかりと理解する必要がある。 会見の内容は、2013年度、兵庫県の豊岡市と佐用町、東京都、福岡市の4カ所を日帰り計195回訪問したとして、政務活動費から約301万円を支出していた問題についてだ。会見の中で彼は「精力的な議員活動の結果」と支出の正当性を主張した。

政務活動費とは、議員報酬とは別に支給される政党活動などを除く調査研究のための費用である。2011年6月分から、1円以上のすべての支出に領収書の添付が義務付けられた。

野々村氏の2013年度の政務活動費取支報告書によると、費用は日帰り訪問した往復の切符代に充てたと報告されている。しかし、領収書の添付や現地での活動を示す記載は一切なかった。また、会見でも、それらについての説明がされることはなかった。それどころか、彼は、「日帰

り訪問は全て事実であり、実績もあげている。しかし、少子高齢化問題の解決という目標に比べれば、今回の政務活動費の問題はごくごく小さいもの。今回は折り合いをつけておくべき社会人として政務活動費を全額返納する」といった趣旨のことを述べた。彼は政務活動費の問題を軽く考えているようだ。しかし、政務活動費は、国民の税金で賄われている。彼は政務活動費の意義を考えたことはあるのだろうか。彼が、いかに浅はかであつたかが分かる。

#### ESを書き終えたら

ここまで、ESの主な質問項目の書き方について考えてきた。しかし、やや抽象度の高い内容になってしまったかもしれない。詳しくは、キャリアアセンターが3年生に配布している就職活動ハンドブックに記載されているので参考にしてみてください。

ESを書き終えた後、必ずすべきことはなるべく色んな人に読んでもらって、意見を

関西学院大学新聞総部 Twitter, Facebook 続々更新中! 関西学院大学同窓会公式 Facebook

にも、卒業生の皆様に現在の関学を知っていただけるような記事を投稿しています。ぜひご覧ください!!





### 横浜共立学園

～歴史の街に  
息づく心のふるさと～

みなとみらい21地区を代表とする近代都市的な一面を持つ一方で、開港当時の異国情緒あふれる街並みも残す魅力的な街、横浜。そんな横浜に今も残るヴォーリス建築を求めて、私は新幹線で一路東へ向かった。

横浜駅からJR根岸線に乗ると数分で横浜中華街の玄关口である石川町駅に着く。駅を降りて坂道を登っていくと数分、落ち着いた竹まいの学校が見えてきた。ここが今回紹介する横浜共立学園だ。

横浜共立学園は1871年（明治4年）に米国婦人一致外国伝道協会から派遣された3人の女性宣教師によって設立された「アメリカン・ミッション・ホーム」を起源とする学校であり、創立当初から山手212番地に校舎を構えている。ちなみにこの番地の数字は居留地にその建物が建った順番に振られていて、当時の横浜に数多くの外国人がすでに住居を構えていたことが分かる。

そんな横浜共立学園とヴォーリスとの間に接点が生まれるのは大正時代の事である。

1923年9月1日に関東地方を襲った関東大震災は各地に甚大な被害をもたらした。横浜共立学園も校舎が倒壊、焼失したため震災から8年後の1931年に創立60周年を記念して本校舎を再建したのだが、その際に設計を担当したのがヴォーリスなのである。

設計にあたってヴォーリスは「耐震性」という点にこだわったとされている。当時の最新技術を駆使し、建物の両サイドを木造建築とし、その真ん中に鉄筋コンクリートの壁を用いるなど耐震性の強化に心血を注いだものと思われる。実際、2011年3月に発生した東日本大震災でも校舎に大きな損傷はなく、ヴォーリスの設計能力の高さや、上下式窓や、スチーム暖房式のセントラルヒーティングを設置するなど当時の最新技術を多用しているのも特徴である。

その後1945年5月の横浜大空襲では、体育館やほかの建物が焼失した中奇跡的に本校舎は焼け残り、完成から80年以上たった今もその姿をとどめているのである。1988年には、先述の関東

大震災や横浜大空襲などによって木造建築の多くが焼失した中、奇跡的に生き残った建物という点などから横浜市の指定有形文化財第1号に指定された。

現在では管理棟として使われている本校舎。15年前に改修工事を施したそうだが、意匠に変化のないように細心の注意を払ったのだという。そのため床板などは建てられた1931年当時のままなのだという。「日々使うことが老朽化防止となり、当時のものをそのまま残していくことが一番大事なこと」と話すのは、今回本校舎内を案内してくださった横浜共立学園事務局長の三武好道さんだ。実際、この本校舎は礼拝の際には生徒たちが通り道として日々利用しており、また教室などもあるため生徒が触れる機会も多いのだという。案内してもらっていた際も教室で授業を行っており、本校舎が生徒の日常の中に生きていっていると感じた。

この本校舎について三武さんは「一言でいえば横浜共立生にとっての心のふるさと、シンボルである」と話した。OGもこの本校舎の建物を懐かしんで見学したりするのだという。現在校舎の建て替えが検討されているが、三武さんは「本校舎の建物は今後も使っていく方針だ」と語った。

開港当時の歴史の足跡が残る山手の丘で本校舎の建物はヴォーリス建築を、そして歴史の軌跡を今に伝える新たな未来を育んでいる。

## 建築の旅!!

9月28日に創立125周年を迎えた本学を語る際に欠かせないのは、やはり時計台などを代表とする「ヴォーリス建築」であろう。ヴォーリス建築は当時のアメリカ建築の流れを汲みつつ、日本の気候風土や住習慣に適合させていて、実用的で簡潔でありながら、豊かなデザインと親しみやすく包容力のある空間が特徴である。そこからは依頼者の求めに応える奉仕の精神がにじみ出ており、本学のスクールモットー、「Mastery for Service」を体現しているともいえる。今回はそんなヴォーリス建築を求めて、本紙記者が日本中を飛び回った。



### 遺愛学院

～北の大地で  
守られ続ける“聖地”～

誰もが一度は憧れる北の大地、北海道。ここでもヴォーリス建築の建物がいまなお大切にされているのを皆さんはご存じだろうか？今回、私は北の大地に眠るヴォーリス建築を求め、一人北の大地へ飛んだ。

羽田空港から空路1時間10分。北海道の南部に位置する街、函館。その市街地を歩く

と縁に囲まれた学校がある。その学校の名前は遺愛学院。函館では知る人ぞ知る名門私立女子校である。この遺愛学院にヴォーリス建築の建物が存在する。

遺愛学院のヴォーリス建築の建物を紹介する前に、遺愛学院の歴史について簡単に触れておこう。遺愛学院は1874年（明治7年）にアメリカ人宣教師M.C.ハリス夫妻が来函し、元町地区に「日々学校」という名で学校を開いたのが始まりとされている。その後、1882年（明治15年）に

北海道初の女子校として文部省の認可を受け、現在までその歴史が続いているミッションスクールである。古くから使われている建物が多く、ホワイトハウス（旧遺愛女学校宣教師館）や遺愛学院本館などは国の重要文化財に指定されている。ヴォーリスが設計した遺愛学院講堂も、2002年9月に国の有形登録文化財に指定された由緒ある建物である。今回は、遺愛学院の事務局長である増田宣泰さんと遺愛学院女子中学校・高等学校の事務局長をしている島田宗人さんに話を聞き、北の大地のヴォーリス建築に迫った。

遺愛学院は創立当初からアメリカ人の宣教師が多く、先述のホワイトハウスや本館といった建物もアメリカの建築家J.M.ガーディナーの設計による建物であった。そのため、講堂を建設する際もアメリカ人の建築家に依頼しようという話が浮上していた。ちょうどその頃、遺愛学院の宣教師や近江八幡の教会の代表者などが出席した会議の中でヴォーリスの名前を聞いた宣教師達が、同じ国の出身であるヴォーリスに依頼しようという事になり、講堂の設計を依頼したと増田さんは語った。

ヴォーリスも、先輩であるガーディナーが手掛けた遺愛学院に関わることが出来るという事で快く引き受け、1935年に講堂が作られた。

建物は下見板張りの壁が特徴的で、建物の色も他の建物と同様の淡いピンク色で、実用的かつ簡潔なデザインが特徴の一つである。現在は毎日の礼拝や、市民コンサートや講演会にも使われている。昭和22年にはヘレン・ケラーが来訪し、講堂で講演会を行ったそう。

また、先にも述べた通りこの講堂は2002年9月に国の登録有形文化財に指定された。この背景事情について増田さんは「学校を見学していた文化庁の方から、ぜひ登録した方が良くと勧められて申請した」と説明した。また増田さんは「有形文化財に指定されたからといって特別にメンテナンスを加えているわけではなく、毎日の礼拝で使う際に生徒に掃除をお願いしたり、10年に1度ペンキ塗りをするくらいであり、自分たちの手で日々守り続けている」と語り、さらに「記念館のように建物を閉め切ってしまうと、建物の保存という点ではうまくいかないのではないかと指摘した。

最後に増田さんは「今後も礼拝などをこの講堂で行っていく、建物が朽ち果てるまで大切に使用していきたい」と話していた。

取材を終えた後、実際に講

堂の中を見学した。講堂は本館の建物とつながっており、廊下からヴォーリス建築仕様となっている。また、床板や壁の部分も建てられた当時のままとなっている。中に入ると天井が高く、奥行きを感ぜられた。また、実用的かつシンプルなデザインは本学のキャンパス群を想起させ、親しみやすさと落ち着きを感じさせる設計になっていた。扉部分のデザインも独特で、細部にもヴォーリス建築の息遣いを感じられた。講堂内の椅子は、地元の造船会社である函館ドックで作られたもので100年近く経った現在でも日々の礼拝などで生徒たちが座っているのだという。

講堂を見学している間に卒業生の方にも話を聞いたが、在学中はあまり興味のなかった礼拝や講堂も卒業してから改めて好きになり懐かしさを感じるの事であった。実際、増田さんによると卒業生が学校を訪問した際に講堂での礼拝に参加したり、講堂で結婚式を挙げたりすることもあるそう。在學生に限らず卒業生にも講堂が大切にされ、愛されていることがうかがえる。

冬には冷たい風や雪の洗礼を受ける北の大地。そんな環境にあってもこの講堂が遺愛生をやさしく包み込んで育て、そしてヴォーリス建築というものを今に伝えているのだと帰る際、講堂を改めて見つめながら感じた。





大丸大阪心斎橋店  
〜レトロでかわいい大阪の知る人ぞ知る魅力〜

この建物もヴォーリス建築であることを御存知だろうか。大丸大阪心斎橋店である。教会や学校建築を中心に活動してきたヴォーリスにとって、初めての商業建築としても知られている。

ヴォーリスが、同店の建築に初めて携わったのは1918年のことである。当時の店舗はゴシック様式の近代的な4階建ての建物であったが、わずか2年で火事によって焼失してしまう。そこで同店の再起をかけ、耐火耐震の鉄筋コンクリートで再建されたものが現在の建物である。第一期が竣工した1922年から1933年まで10年以上かけて、4期に分けて建てられた。また、ヴォーリスは1928年には大丸京都店も手掛けていることから大丸百貨店との親交の深さも窺える。

戸惑い、代わりに愛と幸福の象徴である孔雀を提案しそれが採用された。また、一階エレベーター上の時計をはじめとし、装飾のあらゆるところで六角の星がモチーフとして使われていることに気がつく。敬虔なクリスチャンであったヴォーリスは、幸せを象徴するといわれたタビデの星をデザインに取り入れたのである。その他にも、御堂筋側玄関ホール上部のステンドグラスにはイソップ物語が描かれるなど、ヴォーリスの想いが至るところに散りばめられている。

なくとも楽しめるレトロで美しい建築であるが、今回は一層この建物を楽しむためのポイントを紹介する。同店はネオ・ゴシック様式に、アールデコの装飾をふんだんに取り入れた名建築であるといえる。ちなみに、ネオ・ゴシックとは18世紀から19世紀前半に起こったゴシック式のリヴァイバルで、外見的特徴に劣頭アーチなどがある。また、アールデコは、1920〜30年代に起こった芸術革新運動であり、幾何学的な線とパターン化された模様が特徴的である。

同店を訪れたことがある方はご存知かと思うが、同店のシンボルはやはり心斎橋筋側玄関の外観中央に位置する孔雀のレリーフだ。第二期工事の際、当時の同店社長下村正太郎から鳥の絵を用いるようにとヴォーリスに指示があった。そこで、焼失からの再建の願いを込め、京都店が焼失した後に建てられた「フェニックスホール」という仮店舗名にちなんで不死鳥を提案したのではないかと言われている。ところがレリーフを受注した米国のメーカーはフェニックスという神話上の鳥に「だ」と述べた。



### 創立125周年記念 特別企画!!

## ヴォーリス 日本列島ぶらり こんなところにも!?

9月下旬、すっかりと晴れた秋空の下、私は本学と並んでヴォーリス建築の代表である神戸女学院岡田山キャンパスを訪ねた。(以下、同学)同学は1875年2人の女性宣教師によって神戸山本通に女子寄宿学校として創立された。その後1933年に現在の岡田山キャンパスに移転した際に設計を手がけたのがヴォーリスである。同キャンパスは2014年5月16日に12棟の建物を国の重要文化財に指定するという答申を受けた。これは、1500を超えるヴォーリス建築において初めてのことである。今回は同学主催のキャンパス見学ツアーに参加し、その魅力に迫った。



神戸女学院大学  
〜門をくぐれば心洗われる不思議な空間〜

阪急門戸厄神駅から10分ほど歩くと住宅地の中に突如現れるのが、重要文化財の1つに指定された「正門・門衛舎」である。門をくぐると、道の両側には鬱蒼と木が生い茂る坂道が続き、異世界に迷い込んだ心地になる。と共々、普段涼しい顔をして今津線に乗っているお嬢様たちはこんな坂を毎日上っているのかと驚いた。そんなことを考えながら歩くと、集合場所である講堂に辿りついた。今回のツアーは案内役の方のお話を聞きながら、「講堂」「礼拝堂」「文学館」「図書館」を順番に回っていき、その後は自由に外観を見ることが出来る。

まず講堂はヴォーリス建築の特徴でもあるアーチが多用されている。舞台の大きなアーチの他にも両サイドの大きな窓もアーチ状になっており、その丸みと窓から降り注ぐ自然光が優しく穏やかな空間を演出している。現在は中高部の生徒の礼拝等に使用されている。ちなみにこれから紹介する他の建物も目頃から学生・生徒たちが利用している。

その上西日が射す時間帯は室内がオレンジ色になり、特に美しいのだとか。ぜひ、一度見てみたいものだ。礼拝堂を出ると中庭に出た。中庭は、十字に道があり、真ん中に噴水が設けられている。また、「心」の空間である礼拝堂の前には「知」の空間である図書館、「文学館」の前には「理学館」という配置になっており、教育方針である「リベラルアーツ」を建物の配置で示している。これは、本学の中央芝生にも共通している特徴である。天気もよく、木々の緑が輝き、青空に建物がよく映え、参加者からも感嘆の声が漏れていた。

次に文学館は第二次世界大戦の際の焼夷弾によって、そして阪神淡路大震災によって屋根が2回落ちたため、他の建物に比べてひととき屋根瓦が新しい。また、入口の上に設けられたロートアイアンという装飾は、1941年の金属供出の際に供出されたため、施設課の職員がベニヤ板で代替品を作成したところ、完成度が非常に高く、後世に戦争の爪痕を伝えるという意味も込めて、現在もそのまま残されている。

たいまつのような三つのモチーフがあしらわれたレリーフが施されており、「真理はあなたを自由にする」という聖書の言葉を意味していると言われている。2階に上がると、こぢんまりとした可愛らしい図書室が姿を見せる。直射日光から本を守るための工夫がされている一方で、大きな窓から日光を取り入れており室内が一日中同じ明るさに保たれている。天井には、これまでの建物ではあまり見られなかったポップな色合いのステンシルがあしらわれている。天井が高く解放的で、窓からは柔らかな光が差し込む安らぎの空間である一方で、本に囲まれることで一定の緊張感も持つ空間となっている。

新聞総部のホームページでは、今回の特集記事でお伝えできなかった内容も盛り込んだ記事を掲載しております。是非ご覧下さい!!







# 教授の背中



「敵と戦う時間は短い。自分と戦う時間こそが勝負の明暗を分ける。」

王 貞治

きつと誰もが知っているであろう、王貞治。彼の野球における非凡な才能を咲かせた選手時代や、監督時代の功績はとも有名だ。しかし、彼はただ野球の能力に優れているだけではなかった。いつも自分に傲らず周りの人々の声に忠実に耳を傾け、それを人一倍実践し自分のものにするという、努力の天才であった。

彼を象徴するオリジナルの打法である、一本足打法。これは片足を上げて打つという難しいフォームであり、日本でも会得できる選手は数少ないという。当時成績が伸び悩んでいた彼に、フォームを変えることを師匠から提案されたことで、彼の必死の努力の末にようやく生みだされた。まさに、彼が希望を託した最後のチャンスだった。

通算本塁打の世界更新記録を成し遂げる。このような功績は、一本足打法を生み出しただけでなく、彼がいかなることもたゆまぬ努力と鍛錬を積み重ね続けたことよってのみ成し遂げられたことだろう。まさに彼の残した言葉のように、敵と戦う時間より、己の現状に満足せず常に向上心を持ち続けて自分と戦い続ける時間こそが、何事にも成功の秘訣なのであろう。

## 関学ヒストリア 「大学博物館」

### 新たなシンボルへ

今回は、西宮上ヶ原キャンパス中央芝生正面に位置する本学のシンボル、時計台に開設された大学博物館を紹介したい。

この建物は、時計台として長年多くの学生や卒業生に親しまれてきた。だが、1929年の竣工当初はまだ時計の文字盤しか入っておらず、1933年に学生会によって電気時計が寄贈された。

木香奈子先生は「時計台は、本学の象徴として多くの学生に親しまれているものの、中に入ったことがある学生は案外少ないのではないか。今後はビジュアル的にだけではなく、大学博物館という研究内容を発信する場としてさらに親しみを持ってもらえれば」と語る。

この秋、さらに進化を遂げた本学のシンボルは、今後とも本学に関わる多くの人々に愛され続けるに違いない。

今回ご紹介するのは社会学部の稲増一憲先生である。先生は社会心理学を専門としている。社会心理学とは自分の意思決定に他者や社会がどのように影響しているかを研究する学問である。社会心理学の対象は対人関係、集団間関係、環境問題、消費者行動など多岐にわたるが、先生は中でも「世論とメディア」について研究している。

## 稲増 一憲

社会学部 准教授

先生は大学時代に受けた授業がきっかけで、社会心理学研究への第一歩を踏み出した。その後大学院に進学すると、当時の指導教員の元で世論とメディアについての研究を始めたのだという。また、その際に選挙学会というものに参加し、法学部の人達と意見交換をしていたそうだ。一般的に政治というものには法学部の領域と聞かされるが、法学部がそのシステムや権力に焦点を当てるのに対し、社会心理学は有権者の意思決定などといった「人」の部分に焦点を当てるため、違った視点から研究することが出来る有効なものになると先生は感じたという。

## 違った視点からの研究で“今”を見る

先生は大学時代、合唱部で指揮者を務めたり、劇団を立ち上げ脚本を書いたりしていたそうだ。「ほかのメンバーのように愚痴を言える立場ではなかったので大変だった」と語る先生だが、様々な人が集まる中でそれをまとめ上げ、いいものを作り出していくという満足感を何度も味わったそうだ。また、そこでの経験から「自分の周りにいる人たちが力を発揮できるように環境を作り出すこと」の大切さを知ったのだという。

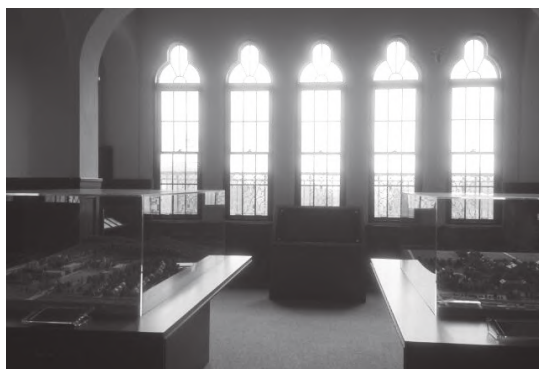
いなます かずのり

- 2005年 東京大学文学部行動文化学科 卒業
- 2007年 東京大学大学院人文社会系研究科 修士課程修了
- 2010年 東京大学大学院人文社会系研究科 博士課程単位取得退学 (2013年に博士(社会心理学)取得)
- 日本学術振興会特別研究員、武蔵大学社会学部メディア社会学科助教授などを経て
- 2013年 関西学院大学社会学部 専任講師
- 2014年 関西学院大学社会学部 准教授、現在に至る。

### 大学博物館 年表

- 1929年 西宮上ヶ原キャンパス工事を請け負った竹中工務店からの寄贈によって竣工
- 1933年 学生会が電気時計を寄贈
- 1955年 図書館の拡大に応じて両翼の拡張工事
- 1997年 新大学図書館竣工  
一図書館としての機能はそちらへ移動
- 2014年9月28日  
創立125周年を記念して大学博物館開館

取に持ち帰られ、関学創立100周年の時に本学に戻されたという逸話も残っている。長年本学の歴史を刻んできた時計台は、創立125周年を迎えた今年の9月28日に大学博物館として新たなスタートを切った。先述のエンブレムの二つの破片も展示されている。大学博物館 博物館学芸員特別講師の高







# K.G. studio

今回のOBインタビュー「タイムスリップ」では、日本バプテスト連盟東八幡キリスト教会の牧師でNPO法人抱樸の理事長である奥田知志さんに現在に至るまでの経緯や思いを聞きました。「K.G. PEOPLE」では絵画部弦月会に所属する佐藤航さん（法・3）に様々な活動や作品に込められた思いについてインタビューしました。

## K.G. PEOPLE

### # 9. 絵画部 弦月会

佐藤 航さん（法・3）

## タイムスリップ

第10回 奥田 知志さん  
(86年卒)

今回取材したのは、日本バプテスト連盟東八幡キリスト教会の牧師でNPO法人抱樸の理事長である奥田知志さん。学生時代の思い出と、現在の活躍について熱く語った。

私は日本バプテスト連盟東八幡キリスト教会の牧師で、主にホームレス支援の活動を行うNPO法人抱樸（ほうぼく）（以下、抱樸）の理事長を務めています。しかし、大学入学当初は牧師になるつもりは全くありませんでした。国立大学の教育学部への進学を志望していましたが叶わなかったため、クリスチャンであったということと、英語科の教員免許が取得できるということで関学の神学部に入学したのです。1回生の5月、

神学部の先輩に誘われて大阪市にある釜ヶ崎の日雇い労働者の寄せ場を訪れたことがきっかけで、その後釜ヶ崎へ通うようになりました。また、神学部自治会の執行委員長を務めたり、釜ヶ崎の問題を考えるサークルに所属したりもしました。そこで、自分の豊かな暮らしの裏で使い捨てられている日雇い労働者の現実を知り、日本の経済や社会の構造に疑問を持つようになりました。同時に、路上で死んでいく人々を目にして「神はどこにおられるのか」という宗教的な問いにも直面し、信仰は虚しいと感じるようになったり、教会へ行く姿勢も変わったりしました。しかし、3回生になる時に、私は牧師になる決意をしました。その

理由は、神のことが見えたから、分かったから、というよりも、このようなひどい現実の中で神までいらないと言われたいら、心の拠り所がなくなってしまう。だから「神はいてもらわなければ困る」という結論に達し、信徒と共に一生神の姿を探して生きていこうと思ったからです。

卒業後は、日本バプテスト連盟東八幡キリスト教会の牧師に就任し、NPO法人北九州ホームレス支援機構（現抱樸）を立ち上げました。私たちはホームレスが抱える問題に「ハウスレス問題」と「ホームレス問題」という2つの概念

今回取材したのは、絵画部弦月会に所属する佐藤航さん（法・3）だ。佐藤さんは高校時代に陸上部に入っていた。陸上競技はタイムが結果として評価される世界である。佐藤さんは、そのことを単純なものに感じ、納得がなかったという。そこで、正反対に見える芸術の世界へ足を踏み入れた。佐藤さんは「芸術は色々な側面で評価される。そこが良い」と語る。

佐藤さんは絵画部弦月会で、展示会での展示を始め、元町高架下の落書きを綺麗にする活動、新月祭でのライブアートなど様々な活動をしている。作品について、「だいたい人は多くのの人に喜んで

また、佐藤さんには大切にしている言葉がある。それは「弱みを見せなかったもん勝ち」という言葉だ。佐藤さんの尊敬する人の言葉だという。現在、佐藤さんが制作中の絵はシンクロナイズドスイミングをテーマにしている。シンクロナイズドスイミングは苦しく大変な競技にも関わらず、常に観客に笑顔

ような状況に置かれている究極な状態がホームレスなのです。ですから、私たちの活動は特に「ホームレス状態」をどのように回復するかということに重きを置いたものとなっています。

また、無縁化が日本社会全体に広がり、「ハウス」はあっても「ホーム」のない人が増えています。そこで、裏社会に入る高校中退者を減らすため、就労訓練に共に取り組む事業を始めたり、敷居がほとんどない「軒の教会」と呼ばれる新しい礼拝堂を建設したりする等、人と人との出会いや関係を大切にしたいという思いのもと、私たちは活動しています。

関学生の皆さん、世界は出会いに満ちています。出会いで人は変わっていきますから、どうか出会いをおそれないでください。出会いによって傷つくこともあるけれど、そういう時には「ああ、本当の意味での出会いをしたのだなあ」と思っしてほしいです。

……

佐藤さんには、文化総部常任委員会委員長を務めるという一面もある。「おおよそ1600人もいる文化総部をまとめることは大変。だが、文化総部常任委員会得たことが弦月会でも活かせる。その逆もある」と話した。

(了)



佐藤航さん、絵画部弦月会に所属する佐藤航さん（法・3）だ。



奥田 知志（おくだ・ともし）

1982年に関西学院大学神学院に入学、1988年に関西学院大学神学院修士課程修了。1990年日本バプテスト連盟東八幡キリスト教会の牧師に就任、2000年NPO法人北九州ホームレス支援機構（現抱樸）設立時に理事長に就任し、現在に至る。

## 文芸部 読み切り小説 「刹那（二三）」

馬場 広大

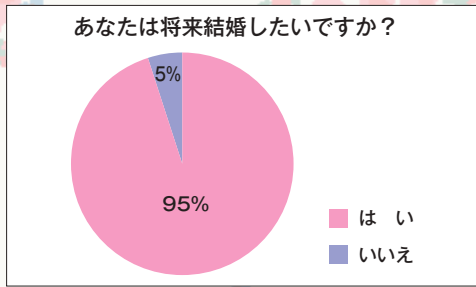
鳥丸は射精を我慢し続けていたが、五分ほど経ったあと、ついに女の口内に精液を放出してしまった。女はいきおいよく手を挙げ、舌から精液をどろんと垂らしてみせた。それを見た松山が「はい、終了」と叫んだ。しかし長谷川はその声を聞いても、女にペニスをくわえさせ続けていた。「長谷川くん、終了だよ」と松山が声をかけたが、「いや、けっこう気持ちいいんで、このままでいいさしてください、お願いです」「わかった。じゃあいつまでも好きなようにしてたまえ」松山は鳥丸たちの方を見た。「さあ、約束どおり死体をもらおうよ」市原がため息をつき、「こいつを殺せばいいんだろ。やれ」と指示すると、二人の名もなきヤクザの一人が銃を取り出し、鳥丸に向けて数発放った。鳥丸はあっけなくその場に倒れてしまい、女が唾然としていた。「どうする？」市原が女を顎でしゃくつて訊くと、松山が「このあとのお楽しみだ」と言っ

(了)



# キャンパスウェディング特集

みなさんは、キャンパスウェディングを見かけたことがあるだろうか。休日に中央芝生でウェディングドレスを着た花嫁を見かけるなんてことも関学生ならではの経験である。今回はキャンパスウェディングについて、その全貌を特集する。



実際に学生がどれほど結婚に関心があるのか調査するため、関学生100人を対象にアンケートを行ったところ、「あなたは将来結婚したいですか」という問いに対し、実に95%の人がはいと答えた。

本学のキャンパスウェディングは、西宮上ヶ原キャンパスと神戸三田キャンパスのランス記念礼拝堂、そして関西学院会館内にあるベーツチャペルにて行うことができる。関西学院での結婚式が広く行われるようになったのは1959年にランス記念礼拝堂が献堂されたからというところで歴史は長い。1999年に関西学院会館が建てられてからは1752組もの先輩方が結婚式を挙げている。平均すると年間116件であり、卒業したての若いカップルから幅広い層に人気がある。また関学の卒業生同士であったり、どちらか一方が卒業生でパートナーが関学の雰囲気を感じ入り、学内での結婚式を決める場合もあるという。

## 司式者は

### 本学の先生

今回の特集にあたり、関西学院会館でウェディングプラ



今回の特集にあたり、関西学院会館でウェディングプラ  
今回の特集にあたり、関西学院会館でウェディングプラ  
今回の特集にあたり、関西学院会館でウェディングプラ

ナーとじっくりと話し合うきっかけになった」などと好評を頂いています。また、参列者のうち卒業生にとつてはキャンパスに戻ってくるきっかけになったり、同窓会気分を楽しめたりというところで、カップルだけでなく参列者全員が充実した時間を過ごしていただけます」

## 結婚式も

### 生涯学習の一環

本学は結婚を生涯学習の一環と捉えているにも関わらず、キャンパスウェディング自体



を知らなかったという人もいられるだろう。認知度にばらつきがある理由を、小田さんは「学部によって、通学に際してキャンパスに正門から入る人とそうでない人がいることも挙げられるでしょう」と語る。正門から入り、時計台やランス記念礼拝堂を目にする学生数が限定されているのが実情だ。キャンパスウェディングに限らず、学内では様々なイベントがある。それらに目を向ける学生がもっと増えれば、より充実した学生生活を送ることができ、キャンパスウェディングにつながる可能性もあるだろう。

## 関学愛

二人に合わせたスタイルで結婚式を行うことができることも、本学でのキャンパスウェディングの特徴である。結婚式の流れも牧師の先生と共に考えながら作り上げていき、人によって異なる結婚式になるのだ。だからこそ、二人で作上げた結婚式の感動と喜びは計り知れないほど大きい。

「本学で結婚式をされる方たちに共通するのは、関学への愛をお持ちであるということです。関西学院で執り行われる祝福された結婚式から、数多くの幸福な家庭が生まれるように心を込めてサポートいたします」と小田さんは言う。関学愛を心に宿しているあなた！将来、本学で結婚式を挙げるのイメージは？

## 関学神戸三田キャンパスから一番近い教習所

### ● 取得できる車種 ●

大型車・中型車・普通車(AT/MT)・  
大型二輪車(AT/MT)・普通二輪車(AT/MT)

お申込みは、大学生協サービスカウンターにて受付できます。



兵庫県公安委員会指定

三田自動車学院

三田市志手原1147-1 TEL:079-562-2995  
E-mail:sanda-as@poppy.ocn.ne.jp HP:www.sas-menkyokaiden.com

